

# 平成16年（2004年）新潟県中越地震の余震分布に見られる二重の地震面

## 1. 手法とデータ

- ・ 2004年10月23日17時56分の本震直後から、28日24時までの期間の一元化震源データ  
 (ただし、震源近傍の19点に観測点固定し、観測点補正を施したデータにより再決定したものを初期値とした。)
- ・ DD法 (Waldhauser and Ellsworth[2000])により震源再決定を行った。

## 2. 結果

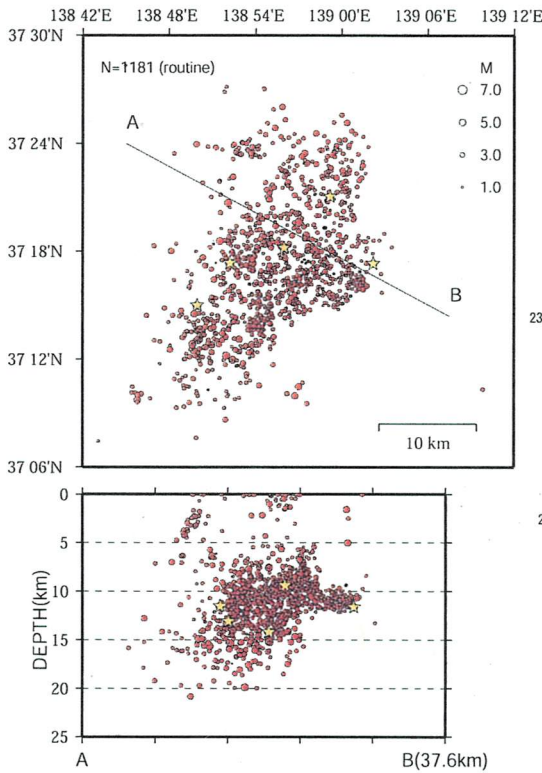


図1. ルーチン処理による震源分布図  
(星はM6.0以上のイベント)

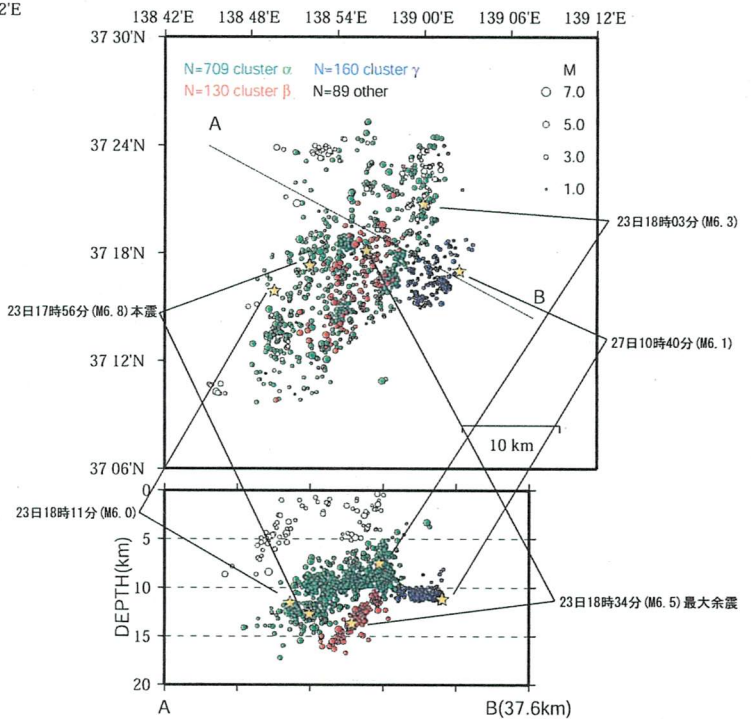


図2. 再決定後の震源分布図  
(色によりクラスターを分けている)

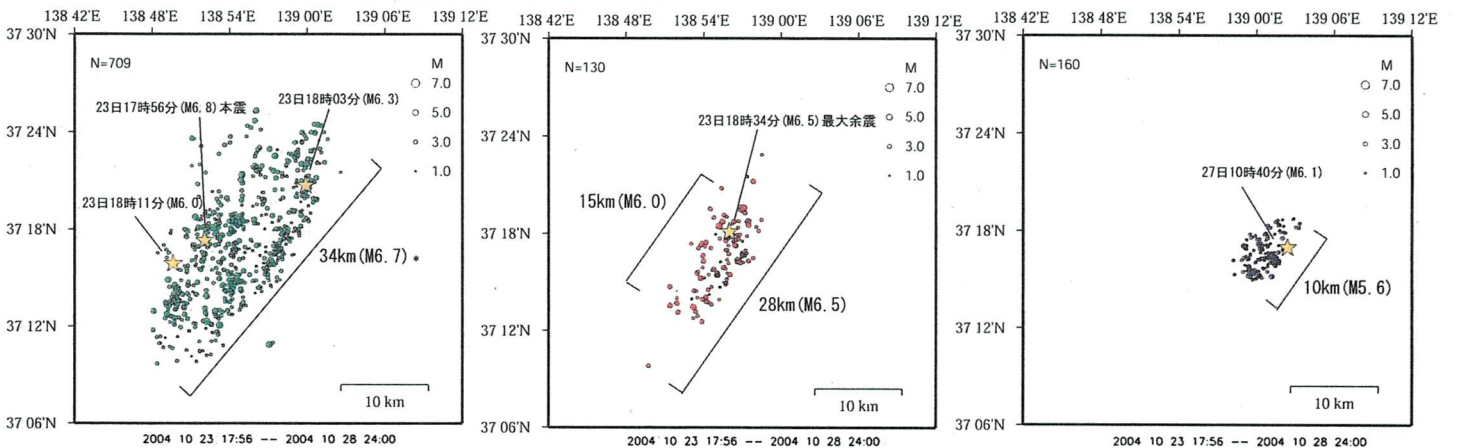


図3-A. 二重面上面の震央分布とMT図  
(本震直後から活動開始)

\* 長径の後の括弧内は、余震半径から求めたM

図3-B. 二重面下面の震央分布とMT図  
(最大余震直後から活動開始、図5参照)

図3-C. クラスターγの震央分布とMT図  
(27日10時40分M6.1直後から活動開始)